

田無病院

西東京市緑町 3-6-1
TEL: 042-461-2682 FAX: 042-461-5992

介護老人保健施設 エバグリーン田無

西東京市緑町 3-6-1
TEL: 042-461-7200 FAX: 042-461-7065

特別養護老人ホーム グリーンロード

西東京市西原町 2-2-11
TEL: 042-467-7736 FAX: 042-467-7070

田無居宅介護支援事業所

西東京市緑町 3-6-1
TEL: 042-461-7981 FAX: 042-451-6781

緑町地域包括支援センター(西東京市委託事業)

西東京市緑町 3-6-1
TEL: 042-461-7081 FAX: 042-461-2720

小規模多機能型居宅介護・グループホーム

みどりの樹
西東京市東町 2-2-6
TEL: 042-439-9311(小規模) 042-439-9315(グループホーム)
FAX: 042-439-9312(小規模) 042-439-9316(グループホーム)

田無訪問看護ステーション

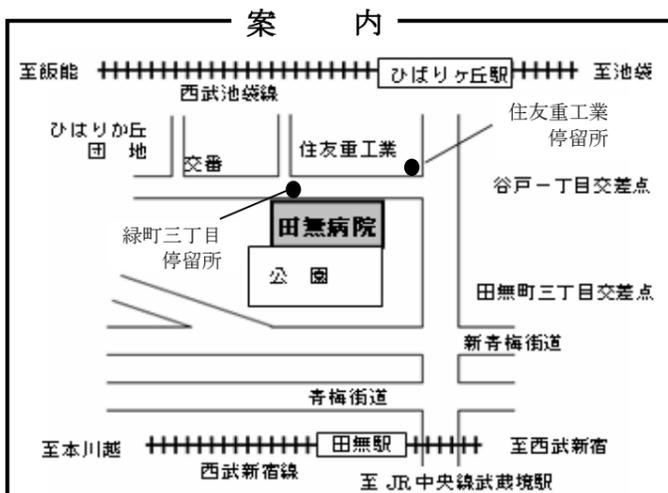
西東京市緑町 3-6-1
TEL: 042-461-7722 FAX: 042-461-5992

グリーンロードヘルパーステーション

西東京市西原町 2-2-11
TEL: 042-461-2634 FAX: 042-461-5995

高齢者専用賃貸住宅 みどりの樹清瀬

清瀬市下清戸 4-709-17
TEL: 042-494-6161 FAX: 042-494-6168



交通機関のご案内

- バスご利用の場合
 - ・西武新宿線「田無駅」より
ひばりヶ丘駅行きバス7分
 - ・西武池袋線「ひばりヶ丘駅」より
武蔵境駅行きバス5分
- JR 中央線ご利用の場合
 - ・中央線「武蔵境駅」より
ひばりヶ丘駅行きバス
 - ・中央線「三鷹駅」より
ひばりヶ丘駅行きバス
- お車で越しの場合
 - ・当院駐車場がご利用できます。
(有料)
 - ・尚、入院者の駐車場のご利用に
つきましては「入退院受付」窓口で
ご相談下さい。

編集後記

グリーンレターも創刊3年目となりました。記事にありますように、田無病院では様々な取り組みを行っています。地域の皆さまとの繋がりを大切に、これからもこぼれない医療を目指してまいります。

そして9月5日には自衛消防審査会が行われる予定となっております。我が緑秀会からは、グリーンロードと田無病院の2隊が参加いたします。暑い中、日々練習に励んでおります。ぜひ、審査会にお越しいただき応援をしていただけたらと思います。

また1面にもありますとおり、今年も市民祭りに際しまして、緑秀会田無病院まつりを開催いたします。地域の方々、職員、多くの方に楽しんでいただけるよう企画しておりますので、ぜひご来場ください。お待ちしております。

広報委員 自衛消防指導係 緑秀会田無病院まつり実行委員長 佐藤奈月

グリーンレター
~Green Letter~

老いても足で歩くまち 老いても口から食べるまち 西東京 田無病院

Aug
2016
夏号

緑秀会田無病院祭り、健康フェスティバル始動。

おまつりの時期が近づいてきました。6月より緑秀会田無病院まつりと健康フェスティバル開催に向けて動き出しています。今年は...

緑秀会田無病院まつり:11月13日(日)(市民まつりは11月12日、13日両日)
@田無病院内

健康フェスティバル:11月26日(土)@田無アスタ2F
で開催いたします。

緑秀会田無病院まつりは、緑秀会を市民のみなさまに知っていただく機会になります。今年も緑秀会一同でまつりを楽しみながら、開催いたします。

健康フェスティバルは今年で8回目です。主催は田無病院、共催は西東京中央総合病院、佐々総合病院です。昨年は当院院長の丸山が「胃ろうの使い方、考え方」について講演を行いました。今年も田無病院からの講演を予定しております。主催ならではの、忙しさも出てきますが病院同士の協力の中、市民の健康意識が更に高まるようにしていきたいと思っております。

去年市民祭りのブースでは脳トレと入院患者さんがリハビリを兼ねて作成したうちわなどの展示を行いました。



去年の市民祭り、田無病院祭りの様子 ↑

また、病院敷地内で行った田無病院祭りでは田無病院駐車場にて焼きそば、豚汁などの販売、車椅子の体験、バルーンアートなどを行い、院内では市民講座を行いました。



健康フェスティバルは田無駅のアスタにて開催されました。去年は当院院長の丸山が「胃ろうの使い方、考え方」の講演を行いました。

去年の健康フェスティバルの様子 →



東京大学とコラボレーション！ 『農作業とリハビリテーション』



↑実際の農作業の様子

リハビリテーションの一環として農作業

リハビリテーションの訓練として、身体や精神機能の回復、生活の質の向上を図るため、農作業や園芸といった活動を取り入れる事があることをご存知ですか？リハビリテーション科では院長と作業療法士が中心となって、東京大学大学院農学生命科学研究科と共同して江戸東京野菜を用いた「農作業におけるリハビリテーションの効果」について研究を行っています。広大な東大農場の畑を一部借りて、季節に合わせた江戸野菜を育てています。

農作業に期待できる効果は様々です。クワやハサミなどの道具を用いての作業や、野菜を収穫するために膝を曲げる・屈むなど身体機能の向上が期待できます。患者さんが自らの手で育てた野菜が成長していく過程は充実感があり、野菜の成長とともに季節や時間の感覚を回復させ、生活リズムを作ります。また実がなり、収穫するといった活動は大きな喜びや達成感に繋がり、意欲を向上させる心理的な効果もあります。

日の光を浴び、土を踏みしめ、野菜を自らの手で育て収穫する屋外での農作業は、「からだ」だけでなく、「こころ」のリハビリテーションにもなると考えています。今後の成果に御期待下さい！

(リハビリテーション科 作業療法士 河原崎崇雄)

第8回みんなに役立つ市民講座開催

7月9日(土)に第8回市民講座が開催されました。あいにくのお天気でしたが、今回もたくさんの方にご参加いただきました。今回の講座は、第1部「この夏の脱水予防を考えよう！」を田無病院教育・研究担当 上坂英二先生。第2部「老いても楽しく食べるために」～食べ方と食事の工夫～を田無病院言語聴覚士 小山内豪先生の2部構成で開催されました。

第1部では、熱中症のメカニズムと、脱水予防のために自宅で簡単に作れるORS「梅干しジュース」の作り方についてご講演いただきました。水分補給は適度な塩分を含んだものでなければ体に吸収することができないそうです。喉が渴いたからといって真水を1ℓ飲んでも1ℓ尿として排泄されてしまうそうです。また、水分補給は一気にたくさんの量を摂取するのではなく、こまめに補給することが重要です。

第2部では、嚥下障害とは何か？と、嚥下障害になってしまった場合の食形態の工夫や、食べ方の工夫についてのお話でした。食形態の工夫としては、誤嚥しやすい食べ物を誤嚥しにくい食べ物にするために、例えば煮物にしたり、あんかけのような工夫をするという方法があるそうです。また、食べ方の工夫としては、姿勢や食べるスピード、食べる際の食事に集中できる環境づくり等で誤嚥予防になるそうです。

今年の夏は酷暑とも言われていますが、喉が渴く前に水分補給を心がけ、熱中症、脱水症を予防しましょう。

次回は 9/10(土)14:30～ 清水 孝一 内科医長による「肺炎球菌ワクチンのすべて」での開催予定です。是非ご参加ください。



田無病院 基本理念と基本方針

基本理念

「楽しく生き、幸せに死ねる」地域医療と介護を目指します。

老いても足であるくまち

老いても口からたべるまち 西東京

You can walk, you can eat, forever! West-Tokyo City

基本方針

- ① 急性期、慢性期、在宅を繋ぐ医療を提供します。
- ② 地域医療と介護の融合を目指します。
- ③ 患者さまとその家族の立場に立った医療と介護を提供します。
- ④ 職員が健康で楽しく働ける職場を目指します。